



適用及び使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	MCPBを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ	冬期落葉防止	2000～ 3000倍	300～400ℓ/10a	11月～1月 但し 収穫10日前まで	1回	立木全面 散布	冬期落葉防止及び へた落ち防止に使 用する場合は合計 1回以内、後期落果 防止に使用する場 合は2回以内（但 し、異なる目的には 使用しない）
	へた落ち防止			収穫開始予定日 の20～10日前			
	後期落果防止			着色期から収穫 20日前まで	2回 以内		





⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所要量を所定量の水にうすめよくかきまぜてから散布する。なお調製した薬液はその日のうちに使用する。
- 本剤は植物ホルモン剤であり、散布条件によって薬効、薬害に影響が現れやすいので他の薬剤との混用はさける。
- 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布する。
- 使用の際は薬液が果梗部を中心に葉先からしたたり落ちない程度に樹全体にむらなく、ていねいに散布する。
- 本剤は一般作物にもごく微量でホルモン効果をあらわすので周辺作物にかからないよう注意する。また使用後の散布器具等は十分洗浄する。
- 本剤は植物ホルモン剤であるので使用に際しては、特に使用時期、使用量、使用方法などを誤らないよう病害虫防除所等関係機関の指導を受ける。
- 極端に樹勢の強い樹や樹勢の弱い樹、また幼木では本剤の使用をさける。
- へた落ち防止を目的として使用する場合、果実を長期間貯蔵したい場合にのみ使用する。
- 着色前および着色初期には、着色遅延のおそれがあるので使用しない。
- かんきつに使用するに当たり、下記に記載した使用目的と作物の組み合わせ以外に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - ・「へた落ち防止：伊予柑、甘夏、ネーブル、はっさく、不知火、はれひめ、天草、はるみ、はるか、せとか、ポンカン、まりひめ、ひめのつき、南風、愛媛果試第28号、長門ユズキチ、ブラッドオレンジ」
 - ・「後期落果防止：清見、河内晩柑、はっさく、日向夏、セミノール、サマーフレッシュ、カラ、バレンシアオレンジ、アンコール、マーコット」

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意する。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

